

世界生産7社が新記録

16年度 北米・中国中心に拡大

乗用車メーカー8社は27日、2016年度の生産・輸出台数を発表した。8社合計の世界生産台数は前年度比4.7%増の2799万2388台だった。燃費不正問題で大幅に減産した三菱自動車以外の7社は過去最高を更新。北米や中国など好調な海外を中心に生産が拡大した。国内生産も輸出需要の増加とともに拡大するなど、海外市場の好調が好循環を生んでいる。

世界生産は、三菱自外が初めて500万台を突破し、スバルだった。トヨタ自動車も初めて100万台の大台は同1.7%増と2期ぶりに達した。スズキも2期ぶりに増加に転じた。ホンダは初めて300万台を超えた。

乗用車8社の2016年度生産・販売・輸出実績

	国内生産	国内販売	輸出	海外生産
トヨタ	3,187,999 (0.5) 300,702 (▲6.7)	1,636,495 (9.9) 205,634 (9.4)	1,726,604 (▲1.8) 153,182 (▲2.3)	5,891,566 (2.3) 554,662 (6.7)
日産	1,015,033 (19.5) 94,793 (29.4)	557,490 (▲2.6) 91,534 (19.6)	610,456 (24.5) 50,388 (55.3)	4,680,741 (6.9) 448,754 (11.7)
ホンダ	810,877 (6.5) 75,104 (▲5.9)	710,756 (1.0) 79,773 (▲2.4)	130,269 (34.5) 6,155 (▲57.4)	4,249,470 (7.0) 412,222 (9.8)
三菱	531,471 (▲18.6) 62,998 (▲12.2)	92,721 (21.7) 15,184 (▲5.8)	379,641 (▲12.2) 36,986 (▲14.9)	547,875 (▲1.3) 58,357 (12.3)
マツダ	964,640 (▲2.5) 95,744 (7.3)	202,695 (▲12.8) 33,792 (28.3)	808,124 (2.7) 74,742 (22.4)	627,168 (7.8) 62,629 (21.8)
スズキ	873,746 (1.5) 97,725 (45.2)	638,871 (1.4) 84,766 (9.5)	138,874 (22.2) 19,563 (96.0)	2,201,511 (5.3) 200,323 (2.7)
スバル	720,519 (0.8) 67,606 (0.7)	163,322 (8.3) 23,273 (23.4)	570,743 (▲1.0) 49,480 (▲8.7)	335,237 (42.1) 37,598 (65.8)
ダイハツ	773,030 (16.9) 89,855 (27.7)	582,879 (▲0.7) 72,677 (▲0.4)	0 (0.0) 0 (0.0)	582,005 (17.8) 46,849 (4.9)

※上段が2016年度、下段は3月実績。単位:台、カッコ内は前年同期比・前年同月比増減率%、▲はマイナス

乗用車メーカー6社 2016年度の世界販売実績

	世界販売	海外販売	国内販売
トヨタ	9,236,000 (1.5)	7,662,000 (▲0.1)	1,636,495 (9.9)
日産	5,642,381 (4.0)	5,084,891 (4.8)	557,490 (▲2.6)
マツダ	1,559,123 (1.6)	1,356,428 (4.2)	202,695 (▲12.8)
スズキ	2,918,083 (2.0)	2,279,222 (2.2)	638,871 (1.4)
スバル	1,028,737 (6.0)	865,415 (5.6)	163,322 (8.3)
ダイハツ	988,186 (1.9)	405,257 (5.8)	582,879 (▲0.7)

※単位:台、□は過去最高、カッコ内は前年度比増減率%、▲はマイナス

世界販売5社が最高

乗用車メーカー6社が27日に発表した2016年度の世界販売実績で、トヨタ自動車、日産自動車、スズキ、マツダ、スバルの5社が過去最高を更新した。海外販売が好調に推移し、ダイハツ工業を含む全社で前年度を上回った。トヨタ、スバル、スズキの3社は海外販売と国内販売ともプラスだった。ホンダと三菱自動車は公表を見送った。

トヨタは5年連続の前年度超えで同1.5%増の929万8千台だった。海外販売は

国内生産の8社合計は、同2.5%増の8887万6881台。マツダと三菱自を除く6社がプラスとなり、スバルが唯一過去最高を更新した。トヨタは3期ぶりのプラスとなった。日産自動車は5期ぶりの増加で、100万台を超えたのは3期ぶり。「セレ

ナ」や「ノート」、北米向け「ローク」の生産が増加した。スズキは欧州向け「スイフト」「イクス」が増加した。ダイハツは軽自動車が増したものの、「アール」や「トリル」、トヨタ向けOEM(相手先ブランド)による生産など登録数が急増した。海外生産の8社合計は、同5.8%増の1911万5573台。三菱自を除く7社が過去最高を記録した。トヨタは2期ぶりの増加で、北米や中南米、欧州、アフリカなど

で伸ばした。日産は8期連続、ホンダは5期連続のプラスとなった。マツダは3期ぶりの増加で、中国専用車「CX-4」が純増となった。スバルは米国工場の能力増強と「インプレッサ」の生産開始により同42.1%増と大幅に伸びた。スズキはインドが3期連続で過去最高を更新した。

輸出の合計は、同2.4%増の4336万4711台だった。市場が好調な北米向けが牽引したほか、欧州向けも伸びた。

17年3月の世界生産は、前年同月比8.1%増の270万5921台だった。海外生産は全社がプラスとなった一方で、国内生産は日産、マツダ、スバル、スズキ、ダイハツの5社が増加した。トヨタは昨年の愛知製鋼の爆発事故による挽回生産の反動減が影響した。

乗用車メーカー6社が27日に発表した2016年度の世界販売実績で、トヨタ自動車、日産自動車、スズキ、マツダ、スバルの5社が過去最高を更新した。海外販売が好調に推移し、ダイハツ工業を含む全社で前年度を上回った。トヨタ、スバル、スズキの3社は海外販売と国内販売ともプラスだった。ホンダと三菱自動車は公表を見送った。

トヨタは5年連続の前年度超えで同1.5%増の929万8千台だった。海外販売は

原油安の影響で米國中近東が伸び悩んだが前年度並みを維持。国内販売は大幅に伸びた。グループの世界販売でも同1.6%増の1025万1千台と過去最高を更新した。スバルは同6.0%増の102万8737台となり初の100万台超えを果たした。5年連続で前年度を超えた。米国の販売台数は9年連続増の62万6985台で過去最高の更新は8年連続となった。日産自動車は4年連続で世界販売を伸ばして同4.0%増の564万2381台だった。

北米、欧州、中国の販売が好調に推移し海外販売も4年連続増と過去最高だった。マツダも4年連続で前年度を上回り、同1.6%増の156万9123台となった。国内販売は伸び悩んだが、中国と欧州の販売が4年連続増とけん引した。中国は過去最高の29万1685台だった。スズキは2年ぶりに前年度を上回り、同2.0%増の291万8093台となった。インドは5年連続増で144万4541台と過去最高だった。国内販売も登録数が10万台を超えて過去最高となり、2年ぶりのプラスに転じた。ダイハツは同1.9%増の98万8136台と3年ぶりに前年度を上回った。インドネシアとマレーシアともに新車効果で過去最高を更新した。国内販売は軽自動車が増減減少し3年連続で前年を下回った。3月単月の世界販売では、トヨタと日産が単月として過去最高を更新した。公表した6社全てで前年同月を上回った。スバルは12カ月連続で前年同月を上回り、マツダは3カ月ぶりにプラスに転じた。

